

凍結乾燥粉末製剤

細胞医薬・研究へ展開

モリモト医薬

モリモト医薬（大阪
市西淀川区、盛本修司
社長）は、独自の凍結
乾燥粉末製剤を細胞医
薬へ展開する。当初、
新型コロナウイルス感
染症などのワクチンを
想定して技術開発した
が、バイオ医薬品への
展開を経て細胞にも対

応できると判断。より
多様なテーマで製剤受
託に取り組む。常温で
の保管が可能で管理し
やすく、サンプル製造
で性質の安定性を確認
済み。細胞治療に取り
組む企業に加え、大学
・研究機関の需要も掘
り起こす。

同社の凍結乾燥粉末
製剤は、スプレー状に
噴霧した薬剤を低温の
真空管を通過させ短時
間で凍結する手法が特
徴。従来の課題だった
均一な温度管理を実現
した。この技術を応用
し、個々の細胞を凍結
できる。容器内で凍結

する場合は均一な凍結
や解凍が難しく、解凍
の前後で細胞の性質が
変化することもある。
細胞医薬品の温度管理
を容易にしたい、実験
のために均一な性質の
細胞をそろえたいなど
の需要を見込む。
連続して噴霧する時
間に応じて任意の量を
製造可能。一度製造条
件を確立すれば同一条
件でスケールアップに
対応できる。